みんなねっと　福井県かれん新聞第１１１号（奇数月発行）

事務局　ホッとサポートふくい内〒９１０－００２６福井市光陽２―３－３６
福井県総合福祉相談所内　℡０７７６－２４－５１３５

１）　みんなねっと福井けんかれん　　２０２５年（令和７年）７月１日

＊　障がいをのりこえるために

もくじ

・ 県家連総会・講演会について・・・（１）
・ 同上　・・・（２）
・ 報告、ホームページ　・・・（３）
・ 知事への要望書（案）　・・・（４）

福井県家連　総会と講演会は６月２１日（土）福井県立図書館で

総会は、福井県障がい福祉課課長　岡田寛隆氏、福井県議会議員　中村綾菜氏、総合福祉相談所課長　奥村与志江氏を来賓に迎えて行われました。

講演会は、演題「 病気からのリカバリー（回復）」で講師、山口達也氏氏（福井県立病院認定看護師）を迎えて開催されました。参加者は約 35 名でした。

岡田寛隆氏

・地域包括ケアシステム体制の構築に取り組んでいます。家族~~支援を推進します~~。ゲートキーパーとか、各種相談の充実を図って参ります。

中村綾菜氏

・県議会で障がい者の権利、本人と家族の支援を進めるよう努力し手行きます。
・ヘルプマークの啓蒙に努めます。
・グループホームなど環境整備に努めます。

奥村与志江氏

・各種相談活動をしておりますので、いろいろ相談をしてください。

ホームページへの投稿を歓迎します。

ホームページ担当者　辺見氏の下記メールに投稿してください。

r_henmi@standtogether-fukushi.com

＊みんなねっと誌　購読　しましょう！　例会などで活用を！
＊「けんかれん新聞」に原稿や意見・質問などの投稿を！
＊家族会例会に集まって話合うのが健康にもいいです。

２）　みんなねっと　福井けんかれん新聞　　２０２５年　7月１日
山口達也氏の講演会　アンケート結果
３）　1.　性別・・・1）男　10　　2）女　7
４）　2.　年齢　30代　1　40代　2　50代　3　60代　2　70代以上　9
５）　3.　地区名　奥越　2　福井　4　永平寺　1　鯖江　1　若狭　2　　）
６）　4. 所属について　1）家族会　11　2）本人　3　4）医療関係者　1　5)行政関係者　1
７）　9）一般　2
８）　５　山口達也様の講演について
９）　1）とても良かった。　16　2）まあまあ良かった。0　3）あまり良くなかった。１
１０）　（感想）
１１）　・観念的な部分、話が難しい部分があったが、このような看護師も必要。十分な価値があると思った。自殺未遂の患者が3－4か月に１回の訪問で自殺率が１０％になったそうだ。すごいと思った。自分も訪問看護を受けていて良かったと思った。
１２）　・楽しみ、やりたいことを見つけ、自分らしさを出してゆく。
１３）　・人とのつながりを大切にする。
１４）　・リカバリーに関して、丁寧に説明していただけて、大変勉強になりました。
１５）　・パーソナルリカバリーという全く新しい考え方を教わって目が開かれる思いでした。希望を感じました。実際にこのような線で医療福祉が進められるとうれしいです。
１６）　・ひとり多職種チームができるすごい人と思った。・リカバリーは人生の再出発。
１７）　・中井久夫氏の当事者に寄り添う活動。
１８）　・ストレンクスモデル＞病気ではなく健康な面に光をあてる。
１９）　・お金住み所の確保大切なのは、そのとおりだと思う親亡き後そうあるためにはどんな努力
２０）　が必要か？
２１）　・住み所は自分一人暮らしが困難場合もあるだろう。社会資源どのように活用するか課題だ。
２２）　・ストレングスモデルの話が興味深かったです。
・リカバリーだけでなく、日々の生活の中で生かして行ける考え方でした。

３）みんなねっと　福井けんかれん新聞　　２０２５年　７月１日

２３）・お話の仕方も柔らかく、聞きやすかったです。

２４）・目からウロコでした。いい講師さんでした。こうした機会を持てたことに感謝します。

２５）・「健康な面に光を当てているから治る」ということ。リカバリーにつながる。もっといい所を見つめていきたい。

２６）学ぶことが多かったので大変良かったです。（３名）

２７）・「問題点」より「強み」を見つけて、自分にも家族にも接していきたいと思います。

２８）・「病気からの回復」という演題だったので、医学的にどのように治療し、改善していくのかと興味がありましたが、お話の内容は「リカバリー」、「パーソナルリカバリー」という意味を徹底して教えていただきました。施設・病院から地域へ、在宅へと移行している状況は感じていましたが、この「リカバリー」の考え方が地域にも広く理解されて専門的な内容を分かりやすく説明いただきありがとうございました。

２９）・難しかった。　　以上

報告　しあわせスポーツ協会　理事会・総会

６月２４日（火）14:00～　セーレン・ドリームアリーナ　小寺会長

＊県家連のホームページ　PC やスマホから見られます。

福井県精神保健福祉家族会連合会(けんかれん)

アドレス　https://fukui-kenkaren.com/

令和７年　８月　日

福井県知事　杉本達治　様

福井県精神保健福祉家族会連合会
会長　小寺　清隆

精神保健福祉施策の充実に関する要望書

日頃より福井県精神障害者家族支援事業にご支援いただき感謝申し上げます。当面の精神保健福祉施策向上のため、下記の改善を要望いたします。

記

１　各地域家族会の育成促進に経済的、社会的な支援をしていただきたい。
本人の回復のための諸々の施策の推進と本人の居場所つくりを支援してください。

２　精神保健福祉センターに、常勤医師を配置してください。

３　精神緊急時の病院への移送の体制を充実してください。

４　医療向上のため、クリニックに、医師以外で患者と相談ができる人員を配置して、診療時の患者の相談活動を充実するように措置してください。

５　①　精神の手帳保持者は他の障害の手帳保持者の保障と比べて劣っています。３障害の手帳所持者に対する保障を、少なくとも同等にするよう国に要望してください。ＪＲ運賃割引適用など。

②　精神科特例により、医師、看護師など劣悪な状況にある制度を他の診療科並みにするよう国に要望してください。

③　自動車税・自動車取得税などの減免を、２級・３級まで適用するよう国に要望してください。

④　義務教育で、精神の病気・予防について教授するよう、国に要望してください。

６　退院促進のため住居を確保、拡充してください。

７　入院医療費を無料にしてください。

８　事業所に対して、利用者への対応・相談などの研修を充実して、
精神障害者の自立向上を支援してください。

９　ACT の立ち上げに支援してください。
ACT は、３６５日、２４時間で体制で、患者の支援をする医療機関です。現状では、夜中に患者が出た時に、すぐに訪問など対応してくれる医療機関は福井県内には、ありません。

以上